

2018
January



VOL.7

1

ガバナー一月信

Contents

ガバナーメッセージ	1
川瀬ガバナーエレクト夫妻渡米壮行会	2
米山記念奨学生 学友会総会開催報告	3
地区奨学生選考試験を終えて	4
1年派遣学生オリエンテーション&クリスマス会	5
下半期地区の予定	6
新会員紹介・訃報	6
会員数及び出席報告	7
コーディネーターニュース	8
ハイライトよねやま	9
文庫通信	11



2017-18 Rotary International District 2560

国際ロータリー第 2560 地区 2017-2018 年度

新保ガバナー事務所

〒951-8053 新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟 1F

TEL:025-222-2561 FAX:025-222-2565

E-MAIL k.shinbo@rid2560niigata.jp

Rotary





「職業奉仕月間」

2017-2018 年度 ガバナー
新保 清久 (新潟万代 R C)

さて 1 月は職業奉仕月間です。

ロータリーが他の奉仕団体と本質的に違う点は、職業奉仕の概念を持っていることでもあります。

職業奉仕の中核にある職業倫理について深川純一氏の著書「職業奉仕とは」(尾道 R C 職業奉仕委員会編集、平成 21 年 12 月 18 日発行)を抜粋して、ご紹介します。

2.26 事件(昭和 11 年 2 月 26 日)で反乱軍に殺された教育総監渡辺鍵太郎大将のお嬢さんで、ノートルダム清心学園の理事長である渡辺和子先生が、29 歳のときに修道女としてアメリカのボストンに渡られた時の話です。

暑い夏のある日、食堂で約 130 人の夕食のために、皿とナイフとフォークをテーブルにセットする仕事をしていたところ先輩のシスターから「お皿とナイフとフォークを並べるのであれば、やがてその席にお座りになる人のために、何故、心の中で「お幸せに！」と祈りながら並べないのですか。何も考えないで、ただ漫然とお皿とナイフとフォークを並べるといことは、時間を無駄にしています」と諭されました。渡辺和子先生は、「私は、今まで如何に効率的に仕事をするか、ということをお教えされてきましたが、**時間に愛を込める、仕事に愛を込める**ということ、初めて教わりました。**時間に愛を込めること**、お皿は同じ早さで、同じ姿で並びます。しかし目に見えない大切なものが込められるか、込められないかによって、**世の中は大きく変わる**ということ、それは一つには、私がお幸せにと祈って置いたお皿で召し上がった方は、必ずお幸せになるという**信仰**であります。

ただ、それよりも私にとって、大切なことは、私にとってつまらない仕事はなくなったということ。**雑用**は、私が仕事を雑にしたときに雑用になるということをお教えされました。つまらないと思ってお皿を置く、お幸せにと祈ってお皿を置く。外から見た限りは全く同じでも、仕事の質が変わっている、**ということはその人自身が変わった**ということです。」と述懐しておられます。

深川純一氏は、以上の話をもとにして、自分の仕事に**愛を込めよ。時間に愛を込めよと力説**されています。

職業奉仕の心は、「**相手に対する思いやりの心**」即ち、「**愛の心**」であり、ロータリーとは、そもそも人間として正しい倫理を学ぶ組織であるとまとめられています。

「川瀬ガバナーエレクト夫妻渡米壮行会」



2018-19 年度 地区幹事
関川 博 (三条 RC)

12月2日(土)朝から降り出した雪は、この時期には珍しい雪化粧の三条。三条ロータリークラブから30年ぶりのガバナーとなる川瀬ガバナーエレクト夫妻渡米を祝う日に合わせたように純白が眩しい。

渡米壮行会は新保ガバナーの計らいによりホテルオークラ新潟で開催。この日は、第1回地区運営会議、諮問委員会、三年度三役会議(二年度となりましたが)が同時開催する運び。第1回地区運営会議では、例年に習い出席者の紹介に続



き組織図の説明、ガバナー月信の説明そして、PETS、地区研修・協議会、地区大会記念ゴルフ大会、地区大会のそれぞれ実行委員長による現状報告と協力依頼。川瀬年度での公式訪問の考え方に、ガバナー補佐各位から活発な議論が交わされ有意義な会議となった。

ホテルオークラ新潟の厳かな空気感も相まって緊張感の中にも引き締まる空気がこれから始まる川瀬年度へエール送っているかのように感じる。

川瀬ガバナーエレクト夫妻渡米壮行会は丹治芳子地区幹事の司会によりスムーズな進行。激励のお言葉をかけられる新保ガバナーの表情も一山超えられこの日を迎えられる実感からか、いつも笑顔の新保ガ

バナーの顔もさらに笑顔。一方、川瀬ガバナーエレクトは緊張なのかいよいよ渡米の覚悟を実感されたのか、いつになく硬い表情が印象的。国際研修会を前に、全世界からノミネートされたガバナーエレクト25名がアメリカ南部のサラソタへ集結し、ホームステイにて懇親を深めるプログラムに参加。英語が堪能であるということはもとより、厳しい条件をクリアされての参加はまさにグローバルロータリアン。ホームステイ先のサラソタベイロータリークラブ会長とは、アトランタ国際大会で出会いすでに友人。

渡米壮行会では、川瀬年度で開催される三大大会実行委員長、副実行委員長も多数参加され、新保年度関係各位との親睦を深めている光景もテーブルごとに見られ、和やか。川瀬年度では、地区事務所固定化など第2560地区大変革の年度ですが、新保年度その前の田中年度より絶大な支援と協力をいただけることで必ず良い形で次に繋がる年度となる。川瀬ガバナーエレクト夫妻におかれては、安心して国際研修会を楽しんできていただきたい。

乾杯と力強いエールを中條耕二パストガバナーにいただき、中締めは石本隆太郎パストガバナーの熱い思いで締めくくられ、良い旅立ちの会でした。





「ロータリー米山記念奨学生 学友会総会開催報告」

米山記念奨学委員会
奨学生、学友委員長
吉村 鳳一（新潟西RC）

2017-18 年度米山記念奨学生学友会総会が2017年11月25日（土）ホテルオークラ新潟にて開催されました。米山奨学生学友会正会員9名、準会員（奨学生）21名、米山カウンセラー18名、地区役員委員21名、総勢69名の出席を頂きました。

房文慧学友会会長の開会挨拶で始まり、新保清久ガバナー、植木康之米山記念奨学会理事、宇尾野隆米山記念奨学委員長の挨拶の後、房学友会会長を議長に

- 1、活動報告 房文慧（ファン ウェン ウィー）
- 2、決算報告 アムナ・レニョクコジマ
- 3、監査報告 詹秀娟（セン シュウ ケン）

議事の審議を行い満場一致で承認され、バロリ、ブレンディ学友会理事の閉会挨拶で総会を無事終了致しました。

その後親睦会が川瀬康裕ガバナーエレクトによる開会挨拶・乾杯の発声で始められました。学友会員より近況報告のスピーチを頂き、ロータリアンと奨学生・学友会員共にあつという間の楽しい時を過ごし懇親を深めました。孫犁冰（ツリピン）学友会理事の中締めで懇親会を無事終了致しました。

私もこの総会に出席しこの米山で出会った人たちとの「出会い」を大切に、奨学生のために残りの期間を全力で支援することを、改めて心に誓いました。





「ロータリー財団奨学生選考試験を終えて」

ロータリー財団委員長
 佐々木 昌敏(小千谷RC)

12月9日(土)午後1時30分オークラホテル新潟にて、新保ガバナー、川瀬ガバナーエレクト、地区財団委員、立会いのもと地区奨学生の選考試験がおこなわれ、日本語面接、外国語面接の結果2名の合格者を決定しました。

今回の2名も大変優秀な方々で、お一人の方は医師で先進国に白内障の患者をたくさん救いたいとの思いでもっと勉強研究したいと留学を希望し、もう一人の方は、社会学を勉強したいとのことでした。

今年も優秀な方々が試験にこられて喜んでいる反面、奨学生候補者が年々少なくなって残念ではありますが、奨学生候補者の真っすぐな向上心のあるまなざしを見ると、涙が出るくらい嬉しく思います。

今後も、ロータリアンの皆様の多くのご寄付をお願いして、より多くのロータリー財団奨学生を派遣していきたいと思っております。





「1年派遣学生オリエンテーション&クリスマス会」

青少年交換委員

本間 長市 (新潟南RC)

12月23日に新保ガバナーと川瀬ガバナーエレクトに出席頂き、長期(1年)交換に向けてのオリエンテーションを行いました。参加者は長期派遣学生の市川さん、竹内さん、本間さん、三牧さんの学生4名と、それぞれの保護者、スポンサークラブの皆様にご出席頂き、今後の準備や注意点を重点に話し、その他ロータリーの歴史や用語についても派遣先で必要な知識なので詳しく説明しました。その中で、特に絶対守らなければならない「ロータリーの4D



ルール」については重要な順守事項として強調して話をしました。

青少年交換は世界各国に派遣された過去数十年の長い歴史が有り、その中で培われた貴重な体験を基に、「青少年交換マニュアル」が有ります。また過去に交換留学生として派遣された皆様に ROTEX として引き続き留学生を支援して頂いていますが、ROTEXの皆様、これから派遣される学生に対して助言して頂きました。実体験を基に話をすると、派遣学生にとっては現実味がわき、より真剣に耳を傾けていたと思います。

スポンサークラブの皆様には途中で別室に移動して頂き、今年から本格稼働した YESS システムにアクセスして頂き、クラブ情報などの入力作業も実際に行って頂きました。

その後、夕方にはクリスマスパーティーを盛大に行いました。ROTEXの皆様が主体となり、JK&バブリー言葉当てゲームなどで楽しみ、ビンゴゲームでプレゼント交換をして大いに盛り上がりました。

委員会の仕事は、これから出発する学生の安全と、来日している学生の生活状況を把握し安全に過ごせるよう見守るという重要な使命を全うすべく頑張っています。今後とも青少年交換委員会の活動に、ご理解とご協力をお願い致します。



下半期地区の予定

年月日		地区主要行事	会場	
職業奉仕月間				
1月	13	(土)	2018 学年度米山記念奨学生選考会	万代シルバーホテル アメリカカリフォルニア州サンディエゴ ホテルオークラ新潟
	14-20	(日-土)	2018 年度国際協議会	
	27	(土)	第2回米山記念奨学委員長セミナー	
平和と紛争予防／紛争解決月間				
2月	11	(日)	2018年2月一年交換学生オリエンテーション	クロスパル新潟 ANAクラウンプラザホテル新潟 ホテルオークラ新潟
	17	(土)	ロータリー財団セミナー・補助金管理セミナー	
	24	(土)	社会奉仕委員会セミナー	
水と衛生月間				
3月	1	(木)	第6回日台ロータリー親善会議	台湾・高雄市 ホテルイタリア軒 燕三条ワシントンホテル 万代シルバーホテル ホテルオークラ新潟 ジオワールド・VIP ANAクラウンプラザホテル新潟 D3490(台北懸三重市)
	3	(土)	米山記念奨学生終了式・歓送会	
	3	(土)	ローターアクト地区大会	
	10	(土)	地区奨学生候補者オリエンテーション	
	17	(土)	第2回会員増強セミナー	
	24	(土)	川瀬年度PETS	
	31	(土)	米山カウンセラー研修会	
29-1	(木-日)	インターアクト海外研修		
母子の健康月間				
4月	7	(土)	新潟東 RC 創立 60 周年記念式典	ANAクラウンプラザホテル新潟 デュオ・セレツ ANAクラウンプラザホテル新潟 ANAクラウンプラザホテル新潟
	14	(土)	直江津 RC 創立 60 周年記念式典	
	21	(土)	新潟中央 RC 創立 25 周年記念式典	
	21	(土)	米山記念奨学生オリエンテーション	
青少年奉仕月間				
5月	12	(土)	2018 全国青少年交換研究会	千葉県 燕三条地場産センター 割烹 新森 クロスパルこいがた
	19	(土)	川瀬年度 地区研修・協議会	
	20	(日)	新津中央 RC 創立 40 周年記念式典	
	27	(日)	青少年交換学生オリエンテーション	
ロータリー親睦活動月間				
6月	16	(土)	三条南 RC 創立 50 周年記念式典	ジオ・ワールドVIP ホテルイタリア軒 ホテルオークラ新潟 カナダ、トロント ホテルオークラ新潟
	17	(日)	ロータリー財団 学友会総会	
	17	(日)	青少年交換学生 2018 派遣学生壮行会	
	23-27	(土-水)	RI 国際大会	
	30	(土)	新保年度感謝の集い	

新入会員 紹介 (敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	職業分類
新潟南	甘田 量一	2017. 11. 22	アサヒビール(株) 新潟支社	ビール醸造
直江津	小堺 武尊	2017. 12. 12	(株)ルーツ	飲食業
直江津	服部 法子	2017. 12. 12	住友生命保険相互会社 長岡支社 直江津栄支部	保険業
新井	呼格吉勲	2017. 12. 06	株式会社安騰商事	農機具買取、販売
越後春日山	内山 勇人	2017. 11. 09	ライズ株式会社	耐震構造検査業

訃報

吉田 RC 初代会長

湧井 智一郎 様

ご逝去日：2017年12月10日

湧井医院 院長

心よりご冥福をお祈りいたします。



第2560地区 2017-18年度 11月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	11月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	83.86	364	381	37	17
新発田	4	96.92	93	98	0	5
村上	4	85.53	37	38	9	1
水原	4	72.16	27	28	0	1
中条	4	84.72	34	36	3	2
新発田城南	4	82.69	41	42	4	1
豊栄	4	84.26	26	27	3	1
新発田中央	4	82.97	45	48	5	3
中条胎内	3	85.18	33	36	7	3
村上岩船	4	80.35	28	28	6	0
第2分区(9クラブ)	／	80.12	441	461	21	20
新潟	4	91.15	86	94	0	8
新潟東	3	86.71	62	62	9	0
新潟南	5	90.64	99	107	2	8
佐渡	5	88.60	7	7	0	0
新潟西	4	74.52	41	40	1	-1
佐渡南	4	76.16	41	42	4	1
新潟北	4	56.98	43	44	0	1
新潟中央	4	82.00	24	25	0	1
新潟万代	4	74.36	38	40	5	2
第3分区(6クラブ)	／	76.98	122	122	7	0
新津	5	73.34	18	18	0	0
村松	4	100.00	11	11	0	0
五泉	3	76.20	17	15	2	-2
白根	4	75.71	37	37	2	0
新津中央	4	76.62	29	31	2	2
阿賀野川ライン	4	60.00	10	10	1	0
第4分区(11クラブ)	／	75.95	368	372	21	4
三条	5	87.25	57	60	0	3
燕	4	73.43	33	34	1	1
加茂	4	83.03	29	28	4	-1
三条南	3	84.10	48	47	2	-1
分水	4	70.59	31	30	3	-1
見附	4	70.00	20	21	1	1
吉田	2	74.20	33	33	2	0
三条北	4	75.77	64	65	2	1
巻	4	82.10	14	14	0	0
田上あじさい	4	68.80	7	8	1	1
三条東	4	66.13	32	32	5	0

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	11月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	／	88.41	314	325	23	11
長岡	4	88.42	39	46	1	7
柏崎	5	82.69	45	45	0	0
長岡東	4	88.55	66	70	5	4
柏崎東	4	90.31	50	49	4	-1
栃尾	4	91.89	21	21	0	0
長岡西	4	84.44	57	58	5	1
柏崎中央	3	92.59	36	36	8	0
第6分区(6クラブ)	／	80.72	154	156	11	2
十日町	4	98.52	34	34	3	0
小千谷	4	73.00	38	39	5	1
雪国魚沼	5	70.20	25	26	2	1
十日町北	3	86.11	23	24	0	1
津南	4	77.90	27	26	1	-1
越後魚沼	4	78.56	7	7	0	0
第7分区(8クラブ)	／	81.20	320	327	28	7
高田	2	99.15	66	66	0	0
直江津	4	76.79	48	49	3	1
新井	5	75.86	29	30	3	1
糸魚川	4	76.74	42	43	3	1
高田東	4	68.42	38	38	3	0
糸魚川中央	3	84.31	34	34	0	0
頸北	4	87.50	14	15	1	1
越後春日山	5	80.86	49	52	15	3

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,083	人
11月末 会員数	2,144	人
女性会員数	148	人
純増減会員数	61	人
当月平均出席率	80.82	%



今年度のライズリー会長のテーマは「ロータリー：変化をもたらす」であります。ロータリーが岐路に差し掛かっていると言われる現在、我々は変革(Transform)を目指さなければなりません。

去る11/20~11/23に開催した第46回ロータリー研究会には全国から多くのシニアリーダーの皆様にご参加を頂き盛会裏に終了できました。研究会では「日本の心をどう世界に発信するか」を基本理念にプログラムを構成して実施しました。幸い参加された皆様から好評を得ましたことは望外の喜びです。

具体的には、セッション1では「日本のロータリー100周年を迎えてのもう少しの努力」(日本のロータリーのこれまでの歴史と将来展望)、セッション2では「日本の元気なクラブ」(それぞれの規模のクラブの努力成果)、セッション3では「変化をもたらす日本のロータリーの将来ヴィジョン」(世界と乖離しない日本のロータリーの存在意義)の研究を行いました。

国際ロータリー理事 石黒慶一

世界を変える行動人 (People of Action)

○公共イメージに関連するさまざまな課題に取り組むため、ロータリーは今年度、「世界を変える行動人」と題された新たな公共イメージキャンペーンを開始しました。

○ロータリーでは、地域に根付いて活動する会員達が、**地元や世界に持続可能な変化をもたらす為に、行動しています。**

○公共イメージキャンペーンの目的

1. 認識と理解の間の格差を埋める
2. 「ロータリーとは何か」を定義し、ロータリーによる影響を明確に示す
3. 会員の参加、目的意識、寄付、活動を促すための土台を築く
4. それぞれの地元にふさわしい広告をクラブが作れるようにする

○目的を果たすための戦略

1. People of Action(世界・地域を変える行動人)としてのロータリアンを紹介する。
2. 地域社会に課題・問題があれば、解決策と可能性を見出すロータリアンの姿を表現する。
3. 長期的な解決策をもたらすために、ロータリアン、地域社会のパートナー、専門家がビジョンを共有し、アイデアを交換する姿を示す。

○具体的な戦術…RPICとしての提案(ロータリアン自身が広告塔です。)

1. 身近に「世界や地域を変えたロータリアン」が居て、地域へ紹介されてなければ、商工会議所ニュースや法人会広報誌等を通じて、地域へ紹介して下さい。
2. 地域社会の問題解決の為、ロータリアンは地域社会(ロータリー以外の団体)のパートナーやリーダーと共に積極的に意見交換し、問題解決にご尽力下さい。

○キャンペーンの一環として、ロータリーのブランドリソースセンターから新しい「メッセージ作成ガイド」をダウンロード出来ます。

○このガイドには、すべてのロータリアンが一貫した方法で心に訴えるロータリーのストーリーを伝え、ロータリーへの参加を促す為のメッセージが紹介されています。

○ブランドリソースセンターでは、公共イメージに関するその他のリソースを利用できます。

第1ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 鈴木秀憲

「増強についての思い」

現在の日本ロータリーの会員数は多少の増加傾向にあるものの、40%は30人以下であると言われていています。また平均年齢は60歳以上が多く70歳以上のクラブも少なくありません。RIは地区の構成として1地区2700人75クラブ(1クラブ36人となります)が望ましいと仰っています。会員増強の課題の1つは斎藤RI理事も仰っていましたが、30人以下のクラブの会員数をいかにして増やしていくかだと思います。小人数クラブは元々活動できる会員数が少なく、またその地域での子クラブ、孫クラブ、ひ孫クラブである事が多く、これは親クラブに対してある意味不利になる事でしょう。

1つの参考事例を述べてみたいと思います。昨年2570地区の坂戸さつきクラブは年初会員数18名でスタートして8名増やして増加率44.4%としています。

- 1) 年度会長は就任前から増強に対する強い思い、やる気があり、7月当初に会長推薦で2名入会させています。(常にパンフレットと入会申込書を持ち歩き、これはと思う人にはロータリーを説明して入会を勧めていた)
- 2) 会長のリーダーシップを意気にかけてクラブ会員一丸となって積極的に勧誘を行った結果7月から11月まで5ヶ月間毎月のように入会者を得ています。
- 3) 退会者(パスト会長)の再入会や7月に入会した新会員による紹介で新たな入会者もありました。

この例から分かることは、会長を始めとしてクラブ会員全員のやる気と普段からの積極的な継続的勧誘奉仕活動があれば増強は確実に出来るという事ではないでしょうか。またクラブ戦略委員会等で目標が決まったならば、会長や増強委員長等が控えることなく常に増強活動を引っ張り続けていく姿勢の大切さが重要であることを示しています。増強して仲間を増やす事はロータリーの素晴らしさを広める事になるのです。これは正に公共イメージアップにも通じる事でしょう。

「為せば成る 為さねばならぬ 何事も 成らぬは人の 為さぬなりけり」上杉鷹山

第1ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 坂本元彦



R I 会長と米山学友らが懇談 — ロータリー研究会 —

東京・台場で11月20～23日、第46回ロータリー研究会が開催され、その最終日の午後、イアン H.S. ライズリー国際ロータリー (R I) 会長夫妻と米山学友・平和フェローとの懇談会が開かれました。米山学友からは、アメリカ出身のコリーン・シュムコーさん (2014-16/東京葛飾RC)、中国出身の于咏さん (2005-07/名古屋中RC) と包翠芳さん (2015-17/山形南RC)、ネパール出身のバタライ・ビノドさん (2014-16/東京世田谷南RC) の4人が参加。それぞれ自己紹介の中で、米山奨学金が学業達成の大きな支えとなり、ロータリーとの出会いが現在の活動や目標につながっていることを、感謝の言葉と共にR I 会長夫妻に伝えました。

また、よねやま親善大使を務める于咏さんが



米山記念奨学事業についてプレゼンテーションしたほか、他の学友も積極的に質問。会長夫妻はそれらの質問にこやかに答えて、自身の考えや関連するロータリーの活動を紹介するなど、参加者全員にとって、身近にR I 会長の意見に触れる貴重な機会となりました。

寄付金速報 — 今年もあと半月、ご送金はお早目に —

1月までの寄付金は前年同期と比べて3.6%増 (普通寄付金: 0.4%増、特別寄付金: 5.2%増)、約2,500万円の増加となりました。11月単月の寄付実績としては、前年度に及ばなかったものの、約7億1,600万円の寄付累計額は直

近16年の中で最高額となりました。皆様からのご支援に厚く御礼申し上げます。12月29日 (金) までに着金した特別寄付金について翌年1月末までに確定申告用領収証を発行いたします。ご確認よろしくお願ひします。

全国学友会会長セミナー開催

国内の米山学友会会長を対象としたセミナーが11月18日、都内で開催され、全国33の学友会の代表者32人が参加しました。選考・学務委員会担当理事である水野 功常務理事からご挨拶をいただいた後、事務局から補助費や報告義務などの実務説明を行いました。その後は4グループに分かれ、魅力ある学友会の運営について活発な議論が交わされました。各グループの発表や質疑応答、岩邊俊久事務局長からの講評後、懇親会では参加者同士のLINEグループを作るなど、打ち解けた雰囲気の中で親睦を深めてい

ただきました。今回のセミナーを通じて、地区を越えた学友の輪が広がり、今後の情報共有・連携が進むことが期待されます。



ミャンマー米山学友会による「田中作次奨学金」

ミャンマー米山学友会が設立した「田中作次奨学金」の第1回贈呈式が11月19日、ヤンゴン市内の日本語学校で開催されました。

この奨学金は、元RI会長の田中作次氏から同学友会へ贈られた支援金を基金とし、日本語を学ぶ優秀な学生10人に対して、それぞれ約2万円を奨学支援するというもの。奨学生に選ばれた学生たちは、「看護師を目指したい」「日本語の先生になりたい」など、家族らが見守る中、将来の夢を日本語で発表しました。

当日は日本から東京東江戸川RCの会員2人が授与式に立ち会いました。クラブ国際奉仕事業のためミャンマー訪問中だった幹事の嶋村文

男氏は、「若者の夢にこちらも胸が熱くなった。日本へ留学する夢を叶えて、この中から米山奨学生が誕生してくれたら。今後も感謝の気持ちを忘れず、ミャンマーの国づくりを担って欲しい」と、語ってくださいました。



韓国米山学友会が総会を開催 — 家族・知人と輪広げて —

11月18日、ソウル市内で韓国米山学友会の定期総会が開催され、学友約55人のほか、韓国と日本のロータリー関係者、台湾米山学友会・関西米山学友会の役員、さらに今回は学友の家族や知人も多数参加して、総勢約80人の盛会となりました。総会の第1部では、韓国から20人以上が参加した「感謝 in 熊本」を含む1年間の活動報告や、次期役員^{ジョンピョンデ}の選出が行われ、次期会長には全炳台現会長の連任が決定しました。第2部では、韓国米山学友会が支援する日本人

留学生3人への奨学金授与式をはじめ、景品抽選で盛り上がり、全員で交流を深めました。

参加した学友からは「忘れていた米山奨学生としての感謝の心を思い出した」「家族や知人にも誇れる学友会だ」などの声が聞かれ、日本から出席した第2610地区米山記念奨学副委員長の村中高次郎氏は「初参加だが、まるで所属クラブの例会のような安心感で、初対面の学友とも会話がはずみました。日本人留学生に学友会から奨学金が手渡されたときには、思わず感動を覚えました。韓国学友会は少しずつ、でも確実に前進していることを感じた総会でした」と、感想を寄せてくれました。今後も同学友会では家族的な雰囲気大切に、さまざまな分野で活躍するメンバーが互いに助け合える環境を作り、学友同士の連携・連帯を強めていく方針です。(取材協力：韓国米山学友会広報委員会)



申告用領収書は来年1月にお送りします

ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は**税制優遇**を受けることができ、「**税額控除**」か「**所得控除**」いずれか**有利な方式を選択**できます。今年1~12月に寄付をした方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。**12月29日(金) 当会着金分までが対象**です。

米山記念奨学会事務局は、**12月28日(木)~1月8日(月)**の間休業させていただきます。**来年は1月9日(火)より通常業務**となります。



平成29年12月22日

ガバナー各位

ロータリー文庫運営委員会
委員長 大塚信郎

拝啓

師走の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。このたびは、下記9点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致しております。

敬具

追伸 下記ご掲載の場合は〔申込先〕もご記載下さるようお願い致します。

文庫通信 (364号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

講演より

- ◎「国際ロータリー会長 田中作次さんに聞こう！ロータリーとは、奉仕とは、人生とは（講演及び会員との質疑応答）」 田中作次 [2017] 11p
(D.2570地区大会報告書)
- ◎「地球温暖化防止の切り札は？」 牛山 泉 2017 17p
(D.2550地区大会の記念誌)
- ◎「世界を照らすLED」 天野 浩 2017 9p
(第45回ロータリー研究会報告書)
- ◎「四国で一羽の蝶々がはばたくと、世界でハリケーンが生じる～情熱と意志を持って」 北川正恭 2017 10p
(D.2670地区大会記録)
- ◎「安全保障と危機管理」 越野修三 [2017] 10p
(D.2830RYLA報告書)
- ◎「日露首脳会談と政局の行方」 岸井成格 [2017] 19p
(D.2660地区大会報告書)
- ◎「母子の健康」 対馬ルリ子 2017 6p
(D.2830地区大会記録誌)
- ◎「福井県の恐竜時代」 東 洋一 2017 4p
(D.2650地区大会記念誌)
- ◎「山形大学のナスカの地上絵研究」 山形大学研究チーム 2014 5p
(D.2800地区大会講演集)
〔上記申込先：ロータリー文庫〕

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日